

会 議 名	第2回 まちづくりの勉強会
日 時	平成30年 9月29日 午後1時30分～午後3時30分
内 容	<p>[テーマ] 高山の未来のための^{まち}都市づくり ～30年後(2050年)の高山、何を目指して生きるんや～</p> <p>[参加者] 市 民 18名 (10代：1名 20代：0名 30代：6名 40代：7名 50代：3名 60代：5名) 事務局 4名 <u>計22名</u></p> <p>[勉強会の流れ] ① はじめに (5分) 進行：事務局 ② 【前半】コメンテーターによる発言 (55分) 発言内容：30年後の高山はどんな風になっているかをイメージしてみると？ 発言者：4名 (事業者、事業者、公務員、事業者) 進行：事務局 記録：NPO法人まちづくりスポット ③ 休憩 (10分) ・休憩時に、コメンテーターの発言に対する質問、議論したい事項をアンケート調査 ④ 【後半】全体ディスカッション (50分) ・アンケート意見に基づいた意見交換</p> <p>[コメンテーターの主な発言] ① 事業者 ・30年前と比べるとデジタル化が進んでいる。 ・AIが発達、スピードアップ、いつでも連絡がとれる。→仕事がやりやすくなった。 ・最近10年の進展はすさまじい。反面、お年寄りなど社会の中についていけない人がいる。 ・30年後、あたり前のことは機械がやる。あたり前ではないこと (失敗もあり) を人がやる。 ・一人でも多くの人に足を運んで、お金を使ってもらおう。デザインで高山を変えたい。</p> <p>② 事業者 ・3年前、社名変更をしたが、名前が変わったところで自分の仕事は変わらないという思いがある。 ・寺院、仏具の修復をしている。ご先祖様の記憶をつなげていく。 ・商店街の良さは30年経っても変わらない。この地域を良くしたいと思う人が集まれば30年後も変わらないのでは。</p> <p>③ 公務員 ・平成28年4月に「飛騨匠 (ひだのたくみ) の技・こころ 一木とともに、今に引き継ぐ1300年」が、日本遺産に認定された。 ・変わっていく時代にあって、30年前、もっと前から変わらないものが大切にされている。 ・子どもたちに住んでいる地域に受け継がれてきた昔話、言い伝えを学習会等で学んでもらい、地域に愛着、誇りを持ってほしい。</p> <p>④ 事業者 ・人口減少は確実であり、所有者不明土地は増えていく。 ・資産価値の無い山をわざわざお金をかけて相続しない。 ・明治にできた制度はもう限界に来ていると思う。 ・人口減少はAIが人間の代わりをすることにより、少ない人数で生産性をあげることができ、致命的ではないと思われる。 ・地域で土地を守る、隣の人に管理をしてもらうなど、新しい考えを取り込まないといけない。 ・地域コミュニティを大切に、住むところはコンパクト化し、多様な発展をしていかなくてはならない。</p>

[全体ディスカッションでの主な意見]

(問) は【前半】からコメンテーターへの質問、・はそれに対するコメンテーター他参加者の意見)

(問) デザイン、アートでこれから高山がどう変わるか。

- ・高山にあるものをどう見せていくか。
- ・海外の文化や環境に負けないものがある。裏山にあるものを気づいていない。
- ・どういう人がどういう目的で高山に来ているのか、分析していかなくては。

(問) なぜ名古屋から高山に戻ってこようと思ったのか。

- ・長男だから(そう育てられてきた)。
- ・ネットで何でもできるようになったのを感じたから。
- ・わが子には自分の足で土の上をどこまでも行ってほしいから。

(問) なぜ商店街でお店をやりたいと思ったのか。

- ・地域の人に求められてやりたい。利便性の追求だけではないと思う。
- ・あの場所(商店街)を大切にしたい。

(問) 良い町にしたいという想いがあれば30年経っても大丈夫だ、ということだが、良い町にしようという想いを持っていないお店が多いという印象がある。想いを持ってもらうにはどうしたらよいか。

- ・自分のルーツを知ることが大切(アイデンティティ)
- ・外から見ると地域の良いところがわかる。
- ・19年前に宮村に移住したが、移住者には入りにくい感覚があった。
- ・歴史に裏打ちされた愛着を強調しすぎると、他者を排除するという意識につながる危険もはらんでいる。

(問) 若者は歴史文化ではなく、新しいものに目が行く。歴史に目を向けさせる工夫が必要では。

- ・昔は神社が子どもたちの遊び場だった。生活の中に神様がいた。
- ・人と人とのつながりが大事。歴史に興味を持つのも重要だが、人に興味を持たせるようにしたい。

(問) コンパクトシティを進めた場合、無人地域をどうしていくのか。

- ・いずれそのような地域も出てくる覚悟とわりきりは必要。
- ・少しでもその時に問題を少なくするためにも、所有者不明問題に取り組むべき。
- ・全国的な問題として、国も法律制定を含め議論を始めている。

[アンケートより抜粋]

・移住者の方の意見には大きな課題があり、ヒントがあると思う。 等

[まとめ・次回について]

- ・情報化が大きく社会を変えている。その中でもアイデンティティが1000年を超える歴史の中で不変のものもある。しかし、現実にはそれが伝えられることなく、無くなる。土地が地域も不明となっていく時代がやってくる。その中で私たちは何を大切にすべきか、併せて、自者(自分たちの地域)とともに他者(よそからの人たち)の思いをどのように併せ持つかが重要。
- ・第3回は、平成30年10月31日(水) 19:30~21:30 市役所にて。
- ・具体的な議論すべきテーマも出ているが、次回も同様のスタイルで話し合い、その後には個別テーマでの話し合いにも移っていくこととする。